

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0869
 住 所 川崎市川崎区東扇島24番地
 氏 名 公益財団法人日本食肉流通センター
 理事長 小林 裕 幸 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	公益財団法人日本食肉流通センター		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区東扇島24番地		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	冷蔵倉庫及び事務所の賃貸		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		4,844 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度～平成30年度(報告年度 平成29年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 10,088 t-CO ₂ (調) 9,916	(実) 10,162 t-CO ₂ (調) 9,990	(実) 9,876 t-CO ₂ (調) 9,709	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 9,785 t-CO ₂ (調) 9,618
削減率		(実) -0.7 % (調) -0.7	(実) 2.1 % (調) 2.1	(実) % (調)	(実) 3.0 % (調) 3.0

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	基準年度と比較し、外気温が高かった影響により冷凍機動力にあたる電気使用量が増加。また、賃貸借施設の入居者が増加し空小間施設がなくなりその稼働で電気・灯油・LPガスそれぞれの使用量が増加した。上記使用量の増加により、基準年度と比較し温室効果ガスの排出量が増加している。
第2年度	基準年度と比較し、大型卸売施設(冷蔵庫・荷捌室)、対面卸売施設(加工室)の冷凍機をそれぞれ省エネタイプの空調機に更新及び荷捌室間仕切り隙間を閉塞、大型冷蔵庫施設荷捌室の照明器具を蛍光灯よりLEDに更新したことにより、電気使用量が減少した。上記使用量の減少により、基準年度と比較し温室効果ガスの排出量が削減している。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○事務所等の空気調和の管理 ○照明設備の運用管理 ○冷凍機器の更新 ○空気調和設備の更新
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○事務所等の空気調和の管理 政府の推奨する冷暖房温度設定を実施した。 ○蛍光灯照明器具をLED照明器具へ更新した。 ○空気調和設備の更新 事務室用空調機更新にあたりエネルギー効率の良い機器を導入した。 ○空気調和負荷の低減 冷蔵庫の建具隙間を改修した。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○事務所等の空気調和の管理 政府の推奨する冷暖房温度設定を実施した。 ○蛍光灯照明器具をLED照明器具へ更新した。 ○冷凍機器の更新 大型卸売施設(冷蔵庫・荷捌室)対面卸売施設(加工室)の冷凍機更新にあたりエネルギー効率の良い省エネ機器を導入した。 ○空気調和負荷の低減 荷捌室間仕切り閉塞及び冷蔵庫の建具隙間を改修した
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none">○共同配送システム導入。○通勤用乗合バスの運行。○ビニールごみ共同処理システムの構築・運用。○テナントへの省エネルギーの啓蒙活動の実施。
第1年度	<ul style="list-style-type: none">○入居テナントを対象に共同配送システムを導入している。○組合加入テナントの従業員を対象に、通勤用乗合バスを運行している。○テナントのビニールごみについて、共同処理システムを構築し、運用している。○テナントに対し、省エネルギーについての啓蒙活動を実施している。○冷蔵倉庫の建具等を修繕し、冷気漏れ対策を実施した。
第2年度	<ul style="list-style-type: none">○入居テナントを対象に共同配送システムを導入している。○組合加入テナントの従業員を対象に、通勤用乗合バスを運行している。○テナントのビニールごみについて、共同処理システムを構築し、運用している。○テナントに対し、省エネルギーについての啓蒙活動を実施している。○冷蔵倉庫の建具等を修繕し、冷気漏れ対策を実施した。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	9,524	t-CO ₂
(調)	9,302	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
公益財団法人日本食肉流通センター	川崎市川崎区東扇島24番地	6919	部分肉流通施設貸付事業	9,524 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--